

ふじ寺、今年もにぎわう



藤まつりが5月3日～5日、住雲寺で今年も行われました。名物の六尺フジは、4月の天候不順の影響で開花が遅れたため、花は咲き始めといったところでした。

境内では、米子西高箏曲部の演奏や茶道部のお茶席などが設けられ、藤まつりを盛り上げました。また、5日の夜には、ライトアップされた幻想的な雰囲気の中で、山陰で活躍する音楽バンド・ジャストフレンズによる

▶「もう一枚撮ろうか？」初夏を思わせる日差しの中、親子の楽しい会話が弾みます

るコンサートが行われました。

藤まつり期間中は晴天に恵まれて、藤の花をバックに写真を撮り合うカップルや家族連れでにぎわっていました。町外、県外からのお客さまも多く、「兵庫から来ました。六尺フジが見たかったのに残念。また来ます」と話していました。

むきばんだ史跡公園で 鳥取県植樹祭

「第56回鳥取県植樹祭」が4月29日、県立むきばんだ史跡公園で行われました。オープニングでは、大山西小学校の児童が『大山からす天狗伝説』を披露。『弥生の里から未来の里へ』みなでつなぐ緑のバトン」をテーマに、県内のみどりの少年団の子どもたちが緑をもっと増やそうとコナラなどの苗木を植えました。

その他にも、火おこし・勾玉づくりといったむきばんだ史跡公園ならではの体験コーナーや大山おこわなどの特産物販売、町出身の歌手・桂木龍さんのミニ・コンサートも行われ、会場は大勢の人でにぎわいました。



▲ サツキの苗木の無料配布もありました

後醍醐天皇の足跡をたどって 太平記ウォーク



▲ 住吉神社でガイドの解説を聞く参加者たち

「御来屋―船上山後醍醐天皇・太平記ウォーク」が4月17日に開かれ、40名が参加しました。午前の部では、参加者はボラ

ンティアガイドの解説を聞きながら、お腰掛けの岩など約10か所の史跡を巡りました。後醍醐天皇ゆかりの「みかど飯・さわら飯」に舌鼓を打った後、午後の部は船上山に舞台を移して、山頂を目指し歩きました。後醍醐天皇は、名和一族の助けを得て、船上山にたてこもって戦ったといわれています。参加者は、当時の情景を思い浮かべながらウォーキングを楽しみ、充実した1日を過ごしました。

佐摩の守護仏・妙見さん

佐摩山には妙見大菩薩が祀られていて、祠があります。毎年4月に妙見役目として、集落総出で祠とその周辺を清掃したあと、祈願祭を行っています。

この妙見大菩薩は、過去の度重なる火災の災いから集落を守ってほしいと、江戸中期に迎えられた守護仏だということです。区長の陶山彰さんは「みんなが顔を合わせる機会が減る中、



▲ 安全祈願をする陶山さん

妙見役目は貴重な日。今後この信仰を大切にしたい」と話していました。